

令和4年度 福山大学 公開講座

備後地域の記憶・変遷と将来展望<2>～新時代の幕開け～

対面講座とオンデマンド講座の2種類で開催します。

対面講座の日程は以下になりますが、オンデマンド講座は配信期間中(9/17～10/29)はいつでも受講可能です。

どなたでも受講できます

対面講座
オンデマンド講座

受講料

無料



9月17日(土)

メンタルヘルスを考える
～心の健康って何だろう?～

人間文化学部 教授 日下部 典子

9月24日(土)

備後企業の
海外進出の現状について

経済学部 准教授 鍋島 正次郎

10月1日(土)

「福山バラの酵母プロジェクト」で
備後地域を潤す!

生命工学部 教授 久富 泰資

10月8日(土)

備後のものづくりを考える
～未来のタネはどこにある?～

工学部 准教授 伍賀 正典

10月29日(土)

認知症とくすり
～薬を正しく使用するためのポイント～

薬学部 教授 佐藤 雄己

対面講座 (全5回)



期間 9月17日(土)～10月29日(土)
(10月15日(土)、10月22日(土)を除く)

各回 11:00～12:00

場所 福山大学 (1号館 01101大講義室)

定員 各講座 150名 定員になり次第、締め切ります。

申込締切 9月7日(水)

4講座以上の対面受講者に修了証書を授与
(オンデマンド受講者は対象外)

オンデマンド講座

事前に作成した講師の動画を
「Youtube」にて公開する講座です。

いつでも
どこでも
何度でも

以下の配信期間、全5講座すべて受講可

9月17日(土) 12:00

10月29日(土) 12:00



定員 無制限

申込締切 10月20日(木)まで随時受付

インターネットに接続できるスマートフォン、
タブレット、パソコンなどから受講できます。

※通信費は自己負担になります。

新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催します。

当日はマスク着用、入場時の検温及び手指のアルコール消毒等にご協力ください。

※感染症の拡大状況並びに気象状況等により、変更させていただく場合があります。

対面講座、オンデマンド講座申込方法

申込が難しい場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

事前申込制

パソコンから

大学HPより
対面・オンデマンド講座を
それぞれ申し込めます。

福山大学 公開講座 検索

スマートフォン・タブレットなどから

対面講座は
こちらの
QRコードから



オンデマンド講座は
こちらの
QRコードから



QRコードを
カメラでかざして
申込スタート!

(個人情報の取り扱いについて) 申込フォームに入力いただきました個人情報につきましては、本公開講座に関する連絡以外に使用することはありません。

問い合わせ先: TEL:(084)936-2111 福山大学 総務部 企画・文書課 〒729-0292 福山市学園町1番地三蔵

主催: 福山大学 後援: 福山市教育委員会

令和4年度 福山大学公開講座

備後地域の記憶・変遷と将来展望<2> ～新時代の幕開け～

令和元年度は「備後地域の記憶・変遷と将来展望～新時代の幕開け～」を統一テーマとして、備後地域の過去・現在と未来に関わる様々なトピックスを紹介しました。

令和2年度及び3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止を余儀なくされましたが、大好評につき、令和4年度も引き続き「備後地域の記憶・変遷と将来展望～新時代の幕開け～」の第2弾を開催します。そこで、令和元年度と同様に、長きにわたり歴史的に蓄積されてきた備後地域の自然や生活様式、風土、またそれらを基盤とする多様な産業を俯瞰し、現在の我々の生活を取り巻くめぐるしい変化や様々な課題を認識しつつ、それに対して如何なる対策と取り組みをすべきだろうかについて、多彩な講師陣が多角的観点から新たな研究成果やトピックスを交えながらわかりやすく紹介・解説いたします。

備後企業の海外進出の現状について

経済学部 准教授 鍋島 正次郎

1985年以降の急速な円高や1980年代から90年代にかけての平均賃金の急騰により、備後地域の製造業企業は、製品輸出に代わって生産施設の海外移転を活発化させてきました。なかでも、備後地域の企業が進出先として選ぶ地域は、少なくとも2000年代以降、圧倒的にアジア地域となっています。ただし、その間にアジアの多くの国々の経済的状況も急速に変化し、かつての安い労働力の供給地という立場から日本企業にとって重要な市場へと移り変わり、非製造業企業の進出も増加してきました。

本講座では、備後企業の進出先の経時的な変遷とその理由を探るとともに、急速に変化する日本とそれ以外のアジアの国々との経済関係について考えていきます。

備後のものづくりを考える

～未来のタネはどこにある？～ 工学部 准教授 伍賀 正典

備後地域は、伝統型産業から重厚長大産業まで様々な業種の集積がみられる地域であり、全国屈指の「ものづくり地域」といわれています。また、個性的な地場産業が数多くみられ、ユニークな取り組みによって地域の発展は支えられています。昨今の激変する社会情勢や技術動向をどのように見極めて、これからの発展につなげるためにはどのようにすれば良いのでしょうか。本講座では、現在着目されている人工知能の活用やデジタルファブリケーションの導入から、一歩先を行くための技術のタネの探し方と育て方を考えます。また、少子高齢化に代表される地域に根差した問題に関しても、技術の活用による解決を模索し、スマートな社会を実現する方法を考えます。

メンタルヘルスを考える

～心の健康って何だろう？～ 人間文化学部 教授 日下部 典子

日常生活の小さな悩み事や気になることに加え、自然災害や感染症など、私たちは様々なストレスに日々さらされています。日本人の最近の死亡原因に「がん」「心疾患」「不慮の事故」等と並んで「自殺」があります。特に、10代後半から50代では3大原因の一つであり、これは備後地域も例外ではありません。現在、備後地域では自殺予防に力を入れています。専門家だけではなく私たちみんなが身体の健康に加えて「心の健康」を目指していくことが求められています。では、心が健康とはどのような状態なのでしょう？本講座では、メンタルヘルスについての理解を深め、心の健康を保つ具体的な方法を紹介していきたいと思えます。

「福山バラの酵母プロジェクト」で備後地域を潤す！

生命工学部 教授 久富 泰資

パンやお酒などの発酵食品の製造には、酵母の持つアルコール発酵の力が使われます。演者は、様々な酵母の種多様性について、遺伝学的な基礎研究から実用研究まで幅広く行っています。本講座では、福山で栽培されたバラの花から発酵性の高い酵母を分離し、バイオの力を駆使して、地域特有のユニークな発酵食品を開発するプロジェクトについてお話しします。この事業は、福山大学が福山市や民間の企業と連携して進めているもので、既にパン製造に必要なパン種やブランドワインを世に送り出しています。また、最近ではクラフトビールや日本酒の醸造も手がけており、大学が果たす地域活性化のモデルとしてマスコミにも広く紹介されています。2025年に福山市で開催される世界バラ会議では、このプロジェクトが大きな役割を果たします。

認知症とくすり

～薬を正しく使用するためのポイント～ 薬学部 教授 佐藤 雄己

備後地域の全人口における65歳以上の高齢者の割合は2割を超え、高齢化の進展によって、認知症を発症する方の割合も増加しています。厚生労働省によると、2025年には65歳以上の高齢者の約5人に1人が認知症と診断されると推計されています。認知症患者においては、服薬管理能力の低下が早期より見られるため、正しく薬を服用できないことがあります。また、服用する薬の数が増え、副作用や飲み合わせの問題が発生することも少なくありません。本講座では、私自身が薬剤師として病院勤務時代に認知症患者と向き合い、経験した事例を踏まえて、認知症の方またそのご家族に正しく、より効果的に薬を使っていたりするためのポイントをわかりやすく紹介します。